

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	たつの市立小宅小学校 教諭 箱根 正斉	研究グループ名 小宅小体カアップ委員会	50
-----------------	------------------------	------------------------	----

研究テーマ分類番号 ( 7 )

(1) 研究テーマ
心と体を育む体育学習の推進 ～友だちとともに生き生きと体カアップをする子を目指して～
(2) 研究経過及び具体的な取組
① 全校体カテストの調査 (6月上旬, 実施場所: たつの市立小宅小学校) 【考察】体カテストの結果, 体力の二極化が見られた。運動をしている子は週4～5日で運動を行い, 体カテストの結果で昨年度の全国平均よりも高い数値が見られた。その半面, 運動過多によるものと思われるが, 柔軟性の値が平均値よりも低いという傾向が見られている。そこで運動機会や生涯スポーツを目指し, 運動の楽しさを感じさせるために体育委員会による体カアップ活動を取り入れる。また, 体育学習での取り組みでは, 運動の楽しさや体カアップを思考といった観点に焦点をあてて授業を考えた。 (体カアッププログラム※場所: 小宅小学校)
② 体育委員会による体カアップ活動 (6月実施 ドッジボール大会 11月実施 耐寒駆け足集会) 【考察】昨年度の全校体カテストの結果から「投」の種目で低い値が見られた。そこで, 全校でドッジボール大会を行間休みと昼休みを利用して実施した。他学年の子が毎回見学に訪れるなど, 学校全体として運動に対する興味関心が上がっている。 また, 気温が低くなるにつれて, 高学年の外遊びの減少が毎年, 見られる。そこで, 全校児童に外で遊ぶように放送で呼びかけたり, 耐寒駆け足集会を行ったりと, 体カアップの増進に向けて取り組んだ。
③ 放課後運動教室 (6月～12月, 4年生以上, 週1回, 内容: 陸上教室) 【内容】6月から週2回程度, 放課後に4年生以上の児童約60名を対象に陸上教室を実施した。 夏休みには, 4年生以上から希望者を募り, 約100名の児童を対象に実施した。 【考察】夏休みの陸上教室では, ハードル, 高跳び, 幅跳び, 100m走の4グループをローテーションし, いろいろな運動を体験させることを狙いとして実施した。結果, 70人もの児童が一日も休まず参加した。
④ 家庭, 医療機関と連携した学校保健委員会 (11月13日) 【考察】校長, 教頭, 養護教諭, PTA, 校医, 栄養担当教諭, 体育担当教諭との話し合いでは, 生活アンケートや体カテストの結果から分析された。その結果, 体力の二極化は, 食生活を始めとする生活習慣と密接に関係しており, 学校・家庭と連携を密にして取り組んでいかなければならない問題であることが改めて認識された。